

SSKS 風の子便り

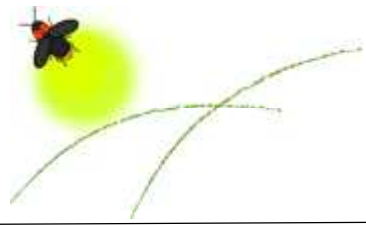
ひとりぼっちの障害者をなくそう



2011年
7月号

目次

- ☆虫めがね 2
- ☆夏期営業 3
- ☆旅行ボランティア募集・
外に出よう感想1 4
- ☆外に出よう感想2 5
- ☆学習会 6
- ☆活動報告・寄付のお礼 7
- ☆小野塚連載 8
- ☆岡本副会長連載 9
- ☆太田連載・
賛助会のお詫びと訂正 10
- ☆夕会便り・スケジュール 11
- ☆編集後記 12



夏はだいikiraiです。暑いはだめです。寒いはだいすきです。

右田 磨子

巻頭文

虫めがね

もしも生まれ変わったら

私が生まれ変わったら現在の夫、太田稔と結婚をして（二人とも健全者）三人の子供をもうけ、立派に社会に送り出し若いときからコツコツやってきた、生け花の師範の免許を取って弟子を五～六人集めて、週一回教室を開き月に一回は東京近郊の野山や、海辺や河原へ行き教材にする、花や小枝や貝殻や小石を集めてきて、前衛の作品を生み出したいのです。

そして旦那にも社会的な責任を果たしたら、自分の好きなことに没頭をして、それを極めてほしいと思っています。

太田 圭子



三木 直人
るたのはしきり忠のいはすッ
から生ん食たいに、実いうと彼。ト犬
で活びすいと寝たい寝たい聞こ飼をらとが
です送りというときいていことい観をいうの
°れしうに食とたを主てのペ



リアル世界への生まれ変わリならば、人間の女性が良いのかも知れませんが、生まれ変わるのを望むというより、なった方が良いかもという所ですが。
僕はアニメやゲームの恋愛ものやラブコメもの、学園物などにも手を出している、男性が好む女性のタイプ（性格や服装等）を知っているからです。無論其れをすることに依って好かれるわけでは有りませんが、少数の男性だけでも楽しめます。喜ばせる事が出来るならば。アニメや漫画などの仮想世界に入り込んでの生まれ変わリならば、一つは、学園ラブコメやハーレム物のアニメやゲームの主人公になり、楽しい学園生活を過ごしたいです。もう一つは、るろうに剣心やドラゴンクエスト・ファイナルファンタジー等の戦いをベースにしたファンタジーや冒険物のアニメやゲームの主人公になり（性別問わず）、戦いや冒険をしてみたいです。

田村 亮彦



2011年 Tシャツ・タオル販売の お知らせ



私達風の子会は、きょうされん（旧称：共同作業所全国連絡会）に加盟している港区の障害を持つ人達が集まる共同作業所です。さて、今年も夏季販売の時期がやってまいりました。この「Tシャツ・タオル」の販売は、毎年行っているもので、とても好評です。今回きょうされんは、全国の作業所等で描かれたデザインがプリントされたTシャツやタオル、バッグを販売しております。障害者自立支援法による厳しい状況の中で、施設運営の維持や工賃アップは切実な問題となっています。この販売活動はきょうされんや作業所の活動資金、障害のある人達の収入を得る為の活動です。熱中症対策グッズや作業所応援Tシャツ・タオル、キャラクター等、取り揃えております。同封しましたパンフレットを是非ともご覧下さい。申込用紙も同封してあります。たくさんの方々にご愛用されることを心待ちにしております。



注文方法



※注文方法は以下の二通りあります。

- 風の子会高浜生活実習所へ電話又はFAXで注文。
- 風の子会高浜生活実習所へ注文用紙を持ってくる。

締め切り日

締め切り日 7月20日（水）

- *・・・商品のお届けは、ご注文締め切り後、約10日前後とさせていただきます。
- *・・・港区内は、配達致します。配達の際は、代金引換となります。
- *・・・郵送の際は手数料ですが、同封する振り込み用紙にてお近くの郵便局にてお振り込み下さい。（手数料は無料です）。お買い上げ金額が5000円以下の際は、送料をご負担願います。

旅行ボランティア募集

今年もまた風の子旅行が9月3日(土)、4日(日)に1泊2日で行われます。今年はみんなの意見をまとめて箱根に行こうということになりました。箱根の美しい景色を眺め、おいしい料理を食べ、宴会に温泉と楽しいイベントになることでしょう。

そこでみなさんにお願いです。僕たちの旅行にボランティアとして参加してくれる方を募っています。観光や宴会や温泉などを一緒に楽しみましょう。初心者も大歓迎です(初心者の方は一度風の子へ遊びに来て下さい)。ご連絡をお待ちしています。

行事委員

外に出よう感想

5月22日日曜日。朝9時に丸山さんと橋本さんが僕を迎えに来てくれました。三人で東京メトロに乗って三田から大門駅に着いたら乗り換えです。大門から麻布十番駅に着きました。麻布十番のバス停で千代さん達が待っていました。最初に紹介をしてからスタートしました。千代さん達が買い物をしました。それから、僕たちは喫茶店に入りました。僕はビーフカレーライスとアイスコーヒーを頼みました。おいしかったです。丸山さんが食べさせてくれました。昼ご飯を食べてからみんなで六本木の方へ向かいました。ミッドタウンの公園で千代さん達が買って来てくれた、たい焼きをゴチになりました。そして、僕たちは東京ミッドタウンへ行きました。そこではカメラの展覧会が開かれています。僕は笑顔の写真を見ました。僕たちは東京メトロに乗って田町駅に向かいました。田町駅では風の子会のみんなが待っていました。最後に皆で写真を撮りました。最高でした。来年も参加したいです。ちなみに、3班のメンバーは小野田さん、千代さん、田中先輩のお母様、永井さん、中山さん、能代さん、御上さん、中島さん、村山さん、丸山さん、一緒に行動しました。皆さん、お疲れ様でした。来年も宜しくお願いします。

柳川 敬事



本番当日は、お疲れ様でした。今回の外に出ようが港区内になった理由は、皆さんご存じの通り3月11日に発生した東日本大震災による影響で電力不足になり、また節電も実施されているため安全面から当初予定していた、葛西臨海公園から急遽港区内に変更させていただきました。楽しみにしていた方もいらっしゃると思いますがご理解願います。港区に住んでいながらまだまだ観ていないところが多くありました。またみなさんも再発見したのではないのでしょうか？ 来年は交通網を駆使して遠方に目的地を決めたいと思いますので宜しくお願い致します。今年も本当にお疲れ様でした。ボランティアの皆さんご協力ありがとうございました。

実行委員長 三木 直人

【外に出よう実行委員会】

麻布13クラブ、車いすと共に歩く会、すすめる会、東京赤坂ロータークラブ、東京神宮ライオンズクラブ、特定非営利活動法人風の子会、ヒューマンクラブ、港区肢体不自由児(者)愛の会、港区重症心身障害児(者)を守る会、港区身障運転者協会、港区中途障害者会、立教大学B・S・A第8支部、(敬称略)

CONVIVALITY

外に出よう感想

立体迷路のような地下道を進んでホールへ辿り着くと、天窓からの日射しを浴びて大きな白大理石の塊が佇んでいた。数十億年という時を経た、この地球の一欠片には窪みがあり、その中で外国の子どもが遊んでいた。

細い階段から地上へ出ると、青空へ向かって東京ミッドタウンがそびえ建っていた。集合時間よりも早く7班メンバーと合流できた。地中から迫り出している黒いブロンズの環が、ぼくたちを見送ってくれた。

透明の巨大なヴェールが、波打ちながら揺らめいているようだった。国立新美術館の中では、逆円錐形の構造物が、空間を押し広げながら膨張していた。そしてその足元では、人々がおのおの小さな円卓で談笑していた。六本木から世界へ拡散するエネルギーの源流を見るかのようなようだった。

居並ぶ美術作品は、車椅子越しに自己を問いた。私の脳裏に思い出が蘇った。

浦安には江戸川の氾濫に備え、真っ黒な堤防が高く築いてある。その堤防を見上げると、夕空が黄金に輝き、太陽が街をオレンジ色に染めるのだ。

正午、純白色が印象的なカフェで、昼食をとった。弁当は色彩豊かで、華やかだった。

雨模様となって東京ミッドタウンへ急いだ。ガレリアは、さまざまな人々で賑わっていた。他の班メンバーとも、笑顔で声を掛け合った。

散策を楽しんで後、最終地の田町駅へ赴く。駅員の誘導により、スムーズに移動できた。大江戸線の車両は狭く、とても気を遣った。普段はこちらが車椅子に気を遣っているが。

大門駅で他の班が後方から追いついてきた。追い越されまいと思ってしまうところが人心。駅員の丁寧な誘導により、一足先に車両に乗り込んだ。もし夕方のラッシュに巻き込まれていたら、大変な苦勞をしたに違いない。

三田駅と田町駅をつなぐ空中歩道にさしかかった時に、ついに雨が降ってきた。車椅子障害者は傘を開き、私は雨に打たれた。雨はザンザン降ってきた。私は車椅子を走らせた。障害者は雄叫びをあげた。

「外に出よう」を通して、障害者の「普通の生活」が、気韻生動と切り拓かれていることを伺えた。創造性はあまねく感動を呼び、絡み合う境界線を乗り越えた、人間同士の信頼感の礎となるものだと思う。

今度は、車椅子で絵画空間を散策したいと思う、今日この頃。

Fin.

神田 浩宣

外に出よう！に参加は今回が初めてでした。麻布十番駅に集合してお台場まで飯尾さんの車椅子を押して移動しました。車椅子を押しながら街を歩いたり、電車に乗るのも初めての体験でちょっとした段差に苦戦したりもしました。

時間が経つのは早く、色々とお話を聞いてもらい、キンチョーもとけて会話をしたり、散歩を楽しみました。

玉城 羽留美



学習会便り

五月 十一日【予定決め】

五・六月分の学習会の予定を決めました。さすがに、定期的に『歌と踊りの練習』に注ぎ込む時間ばかりです。

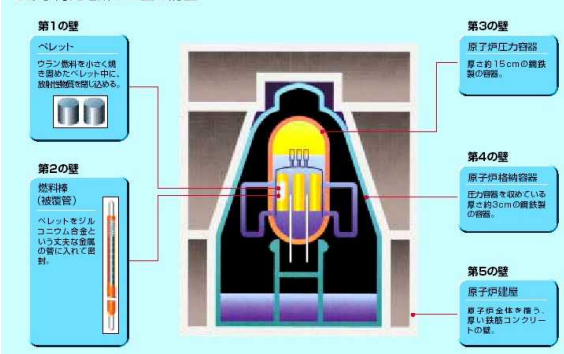


二十五日【原発・歌と踊りの内容説明】

原子力発電所の仕組みや、原子力発電と原子力爆弾の大きな違い（仕組み・原料の違い等）を教えてもらいました。歌と踊りは各々の配役を割り振りました。

田村 亮彦

●原子力発電所の五重の防壁



十八日【テーブルゲーム】

最初は、トランプ・人生ゲーム・オセロの三班に分かれて遊んでいました。後半は人其々好きな所に移ったり、ゲーム内容を変えてあそびました。



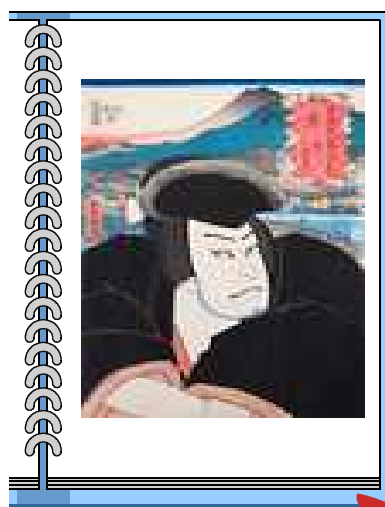


実習所から新幹線がよく見えるが、その度に僕は旅行がしたくなる。若い頃はよく旅に出かけたものです。旅の楽しみは、景色と食べ物、きれいな景色と美味しい食べ物があれば最高。とにかく実習所から見える新幹線は、僕の心をいやしてくれる。

今年の「歌と踊り」は、昔世間を騒がせた、大泥棒「石川五右衛門」をやります。小野塚さんが、五右衛門役で、それを取り押さえようとする岡っ引きの役を僕が担当します。僕にとっていつもよりセリフが少し短いのですが「真柴さま」というセリフに苦労しています。僕は昔から半濁音が苦手でなんどやってもNG。

とにかく七月九日の、本番目指して、風の子会は、今頑張っているところです。

太田 稔



寄付のお礼

寄付をして下さった方
山形和子様 江尻公一様
仙頭邦子様 大野誠様
田中紀義様 あけみ様 聡様
東京赤坂ロータリー様
立石豪 哲子様
薛 永日 薛陳月美 美沙
美莉 芬芳様
杉浦陽子様



わたるのドミトリーライフ

【ドミトリーとは英語の dormitory つまり寮という意味】

第38話 寮生活5年目

5年目の出だしは、順調に進んだ。前の年に相部屋だった通称ギョとは別れ、一泊温泉旅行にも一緒に行ったヒロセと組むことになった。ヒロセとは麻雀やカラオケなどでよく遊んだ仲間だったし、相性も悪くはなかったので、5年目のパートナーとして彼を選んだのだ。ヒロセの学年とは遊び仲間が多く、たまに部屋にも顔を出しに来て部屋を賑わかせていた。そういう雰囲気は、前の年のしんとした雰囲気よりは少し賑やかさを取り戻せた気持ちにさせた（とはいっても2年目3年目のような寝る間もないような殺人的な騒がしさではなくて、スマートでフランクな賑やかさだ）。そんな雰囲気の部屋で過ごしながら、日中は精力的に大学へ通い、講義に出てゼミに参加し、卒業に向かって必死に大学生活を送っていた。

新歓期に迎えた新1年達も明るく楽しい奴らが多かった。僕は2浪した上での5年生だったので、彼らとはかなり歳が離れていたため若干のジェネレーションギャップを感じるような場面も多々あった。けれど寮で4年も過ごしていればそんなことは気兼ねせずに付き合っていけるようになる。寮生活を通して僕はほんの少しだけ凶太さを身に付けられるようになったのかもしれない。

新歓行事を終えた頃に、1年を誘ってどこかに遊びに行こうという話がヒロセ達3年の間で持ち上がり、僕も付き合うことになった。ヒロセ達3年と1年、それに5年の僕を含めた総勢15名弱で近くにある読売ランドへ遊びに行くということに話はまとまった。ジェットコースターや観覧車など、子供の頃に乘った以来のアトラクションを楽しみながら、後輩たちとうまく付き合っている自分に少し安心感を感じてもいた。

5月の半ば頃に、キクチという3年がナイトハイクをしようと言いき出した。寮の近くを流れる鶴見川の川沿いを、夜通し歩き通そうというのだ。面白そうな話に僕もすぐに飛び乗った。参加者は言い出しっぺのキクチとヒロセ、それに同じ3年の遊び仲間のタク、そこに先日読売ランドに連れて行った1年達も数名巻き込み、僕も混ざって計10名前後となり、11時過ぎに寮の玄関に集まって出発した。

寮を出て10分くらい歩くと鶴見川が見えてくる。川沿いの遊歩道に入ってそこを歩き始める。3、40分歩いたところでフェンスにぶつかった。「デッドエンドですね」「どうするんですか？」戸惑っている1年達を背に、ヒロセやキクチたちは何のためらいもなく「行くに決まってるだろ」と言い放った。僕の車いすを1年達に抱えさせてフェンスを乗り越え、僕は車いすから降りてヒロセやキクチたちの支えを受けながら何とか乗り越えた。月明かりと遠くに光る街灯しかない夜闇の中、こんなことをやっていたのかと今更ながらに呆れる思いだ。けれども当時ではできることは何でもできたし、やろうと思えば何でもやれたのだ。「ちょっとひやっとしたな」言いながらも僕はこのスリリングな夜を十分に楽しんでた。

その後もひたすら歩き続け、最終的にたどり着いたのは横浜の山下公園だった。町田の真ん中あたりの学生寮を出発し、夜通し8時間近く歩き通して山下公園に着く。こんなバカなことができるのは、学生だからというより他はない。学生だったからこそ、こんなことをやってのける体力もあったのだろう。

JRで帰途に着きながら、この5年目も何とかやっていけそうだと思う。

～ 39話につづく ～

バリアフリーよもやま話 第1回 「福祉ってどういう意味？」

今回から、いくつかバリアフリーや福祉に関係した、ちょっとしたお話をさせていただきたいと思います。日頃していること、皆さんにも知っていただきたいことをいくつか、綴っていきたいと思います。なお、この連載の一部は日本GE株式会社様の社内社会貢献組織「バリアフリー・ネットワーク」の機関紙に連載させていただいたものを加筆修正したものです。



バリアフリーは言うまでもなく福祉に関連した言葉ですが、この「福祉」という言葉、いったいどこから来たのでしょうか。広辞林第5版には福祉は、「幸い、しあわせ」とあります、もうちょっと調べてみると、中国の「易林」という古典で福祉という言葉が、「天の恵みによって幸せな生涯をまっとうして喜ぶこと」という意味で使われていたという説があることを知りました。漢字の福の字の偏は「神様へのささげものを置く台」、つくりは「祭りのときに捧げる酒肉」、祉は「そこに神がとどまる」ことを意味する、ということだそうです（でも「祉」は福祉以外には使われることがないようで、いささか可哀相な気がしますね）。日本でこれが使われたのは、戦後GHQによって日本国憲法の草案が示されたとき、Welfareと言う単語の訳として適切な日本語がないので「福祉」という用語が充てられたのが最初ようです。翻訳を担当された方は、えらく苦労されたと思いますが、実に良い言葉を見つけてくれたと思います。憲法では、第12、13、22、24、29条にも「福祉」という用語が出てきます。

私たちは「福祉」というと障害のある人とか高齢の人に関する言葉のように感じる人が多いのですが、本来はすべての人の幸せを語る言葉なのです。

（理事・副会長 岡本 明）



母が他界してからの僕は、一年
くらいは何もやる気が起こらなかつた。
僕が活動を出来なかった、一つの理由
はトイレである。

今の作業所では職員さんが、トイレに
行きたいと言えばすぐに連れて行ってく



るが、昔の
作業所では
職員さんの

手も少なく、人手が足りないものだから、
ついトイレに行かず我慢することが多
かった。

第七話

僕の生い立ち

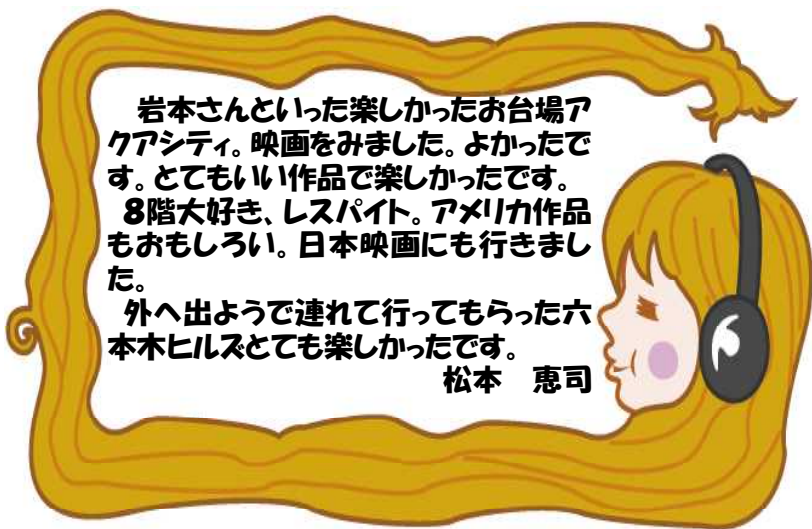
太田 稔

賛助会のお詫びと訂正

賛助会員の皆様にお送りさせて頂いております会報、「風の子便り」ですが、6月号にて賛助会の振込用紙を同封しましたが違う口座番号の振込用紙を同封してしまいました。賛助会員の皆様に大変ご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。

今月7月号にて新しい振込用紙を同封致しますので、今後はそちらでの振込用紙をご使用下さるようお願い申し上げます。

なお、すでに振り込みいただいた方は受領されておりますのでご安心下さい。まだまだ未熟な会ではございますが、今後とも御指導、御支援の程よろしくお願い申し上げます。



岩本さんといった楽しかったお台場ア
 クアシティ。映画をみました。よかったです。
 とてもいい作品で楽しかったです。
 8階大好き、レスパイト。アメリカ作品
 もおもしろい。日本映画にも行きました。
 外へ出ようで連れて行ってもらった六
 本木ヒルズとても楽しかったです。
 松本 恵司



編集後記

私は、歯科の定期健診を受ける
 ようにしています。三ヶ月に一度ですが、
 こちらは歯垢の除去を中心としたもので、
 それと区から送られてくる無料の健診を受け
 ます。こちらはガムを噛んで唾液を出しその中
 に血液が混じっていないか・噛み合わせはどうか等調
 べて歯肉炎の有無を調べます。最後に医師から歯を
 八十歳までに失う率の説明があつて終わりになりま
 す。予防にためて医療費がかからないように、と
 いつまでも自分の歯で食べたいからです。
 三木 直人

今回のスポーツ大会は、砲丸
 投げの方はいつも通り位の記録
 なのですが、ソフトボール投げの方は年々
 落ちて去年出した都記録(31m55)より1
 m以上落ちてしまいました、且
 つ初出場の人に自己記録
 (37m43)の時の区分が
 統一・無くなった為に記
 録の消失)を2m以上抜
 かれた色は全気になりました。
 ダルの色は全気になりました。
 せんが、初出場の(其れ
 も若い)人に簡単に抜
 かれたのが残念です。
 田村 亮彦



ひとりぼっちの障害者をなくそう 特定非営利活動法人・風の子会 ~定価40円~

編集者
 柳吉右松田小太
 川田田本中野田
 敬久磨恵圭
 事代子司聡航子
 和幸三田佐太
 栗木村久田
 頭 間
 太高直亮
 郎史人彦庸稔

編集人：【高浜生活実習所】
 生活介護、就労継続支援B型

〒108-0075
 東京都港区港南1-1-27 カナルサイド高浜3階
 TEL 03(3474)9674 FAX 03(3474)9213

ブログ：<http://kazenokokai.blogspot.com>
 ご質問・ご要望等は下記のアドレスまで
 お願い致します。

アドレス：kazenokokai@gmail.com

発行人：障害者団体定期刊行物協会
 東京都世田谷区砧6-26-21

